

Topic

平成 23 年 2 月 4 日

ウェブサイトに対するスキャン活動について

ウェブサイトに対しては、従来からぜい弱性等を確認するためスキャン活動が行われていますが、今回新たにインターネットを経由してウェブページに記載されているリンク先をすべて探索するなど、詳細にぜい弱性等をスキャンする活動を確認しました(図1)。

今回確認したスキャン活動は、ツールを利用して自動的に、ウェブページに記載されたリンク先及びぜい弱性等の調査を行っていた可能性があります。また、ウェブページに実在するリンク先へのアクセスだけでなく、ディレクトリやファイル名を推測しているとみられるアクセスもあり、アクセスログには特定の IP アドレスから多数の404エラー*が記録されるという特徴があります。

インターネット上に公開しているウェブサイトは、常にぜい弱性等をスキャンされる可能性があります。ウェブサイト上に不要なファイルを公開しない、ぜい弱性に対する修正プログラムを適用するなど、公開しているウェブサイトのセキュリティ対策について再確認することをお勧めします。

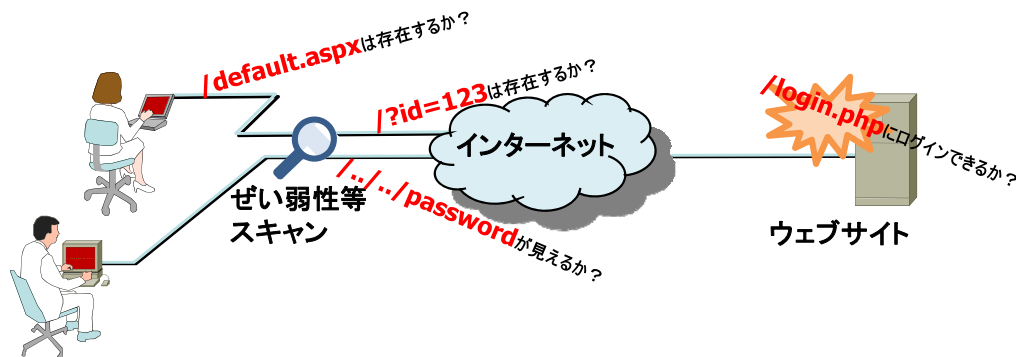


図1 ウェブサイトに対するスキャン

* HTTP ステータスコードの一つ。ウェブサイトに対し、実在しないウェブページを要求した場合のエラーとして使われる。